

新庁舎建設だより

Vol.7



免震装置の工事について

12月は、いよいよ免震装置の取付に着手します。一部の免震装置を除き51基の製品を取り付けます。建物の根幹となる基礎部分と免震装置の取付は高度な技術力が要求されるため様々な準備と細心の注意をもって進めていくこととなります。免震装置の取付が完了するとひと段落です。年明けからは1階床の工事に進みます。

さて、今年の2月26日に、工事に着手してからコロナ禍を始め様々なことがありました。特に7月豪雨では未曾有の光景に言葉を失いました。被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。現場でも戸惑がありました。地元の皆様のご理解とご協力のおかげで約10箇月間無事に工事を進めることができました。来年もご迷惑をおかけしますが、引き続きよろしくお願いたします。

なお、年末年始の12月27日から1月5日まで現場は休みになります。

【11月末の状況】



↑免震装置を配置する免震層の床部分です。正方形の台座のように鉄筋が組んである部分が免震装置が設置される基礎部分になります。12月上旬にコンクリート打設を完了し、中旬から下旬にかけて免震装置を設置します。

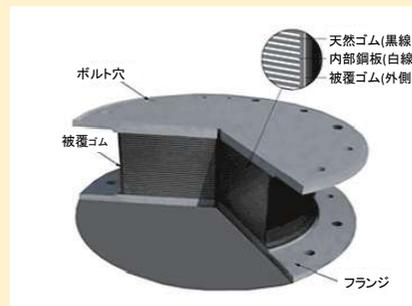
免震装置について



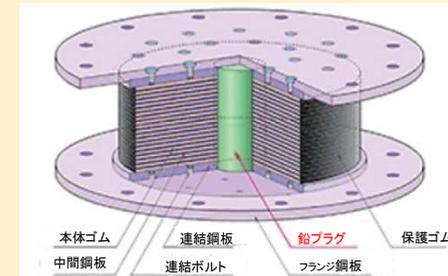
前号に引き続き免震装置の紹介です。

今回は、新庁舎に設置される免震装置について紹介します。

免震装置は、大きく分けて建物の重量を支えつつ水平方向に自由に動く絶縁体（アイソレーター）と地震のエネルギーを吸収することで揺れを抑える減衰装置（ダンパー）により構成されています。



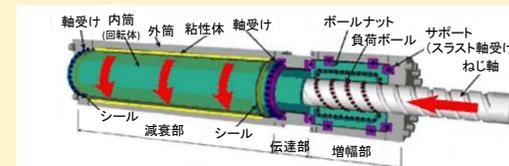
【絶縁体（天然ゴム系積層ゴム）】
天然ゴムと鋼板を交互に積み重ねた絶縁装置



【絶縁体（鉛プラグ入り積層ゴム）】
天然ゴム系積層ゴムの中心部に鉛プラグを挿入しエネルギー吸収も兼ねた絶縁装置



【絶縁体（弾性すべり支承）】
大きい揺れの際に、すべりを発生させ、揺れに追従します。



【減衰装置（減衰コマ）】
地震時に減衰材が伸縮することで地震のエネルギーを吸収します。

工事概要

工期 自 令和2年 2月26日
至 令和3年12月27日

災害のため工期延長を検討します。

施工 三井住友・丸昭JV
監理 山下・本田・月足設計JV

お問合せ

三井住友・丸昭JV現場事務所
☎ 35-6211
人吉市 市庁舎建設推進室
☎ 22-2111

次回予定：1、2月合併号